



住んでみたい 住み続けたい やまづり町

広報

小さくても輝く町

# やまづり

## 矢祭ふれあい駅伝競走大会

### 1千人が集う

1 2012  
月号  
No.610



- 年頭のご挨拶・矢祭ふれあい駅伝競走大会・矢祭ふるさと会長新年挨拶・他・・・P2～P7
- 矢祭町文教施設の一極化計画・手のひらの会文部科学大臣賞受賞・他・・・P8～P9
- 年男・年女・町の動き・青少年の主張最優秀賞作品・わが家のイチおし・他・・・P10～P15
- 申告相談お知らせ・すくすく満1歳・短歌・・・P16～P17
- タウントップックス・辰年生まれの6年生紹介・情報局・情報カレンダー・・・P18～P24

## 年頭のご挨拶

住んでみたい、住み続けたい、安心安全なやまつり町

矢祭町長 古張 九

新年を迎え、町民の皆様には謹んで新春の御祝辞を申し上げますとともに、ますます多岐多岐となります。又、常日頃より町政全般にわたるご支援ご協力を頂き、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、何と言っても3月11日に発生致しました東日本大震災でありまして、被災された皆様は心からお悔やみとお見舞いを申し上げますとともに、必ずや力強く復活されますことをご祈念致します。

今回の大震災は、広範囲に震度7から5を記録し、矢祭町は5強となり「生まれて初めて」のかつて無いほど激しく揺れ、東北の被災県3県は、日を追うごとに「未曾有」「空前絶後」と、どんな言葉でも表現できないほど被害が拡大し、さらに本県では福島第一原発事故も深刻な大問題となっております。

当日は、11日午後2時46分に震災が発生した時は、3月定例議会の最終日でありましたが、すぐ議会を取りやめ、午後3時55分に災害対策本部を設置し、町長以下全職員が午後7時まで対応に当たり、7時以降は町長以下グループ長以上の職員と、道路、水道、消防等の各担当者が情報収集をはじめ、水道の復旧や道路の点検、給水作業など徹夜で実施をし、町消防団も团长以下、団員が町内の情報収集や被害調査、復旧作業を行い、被害状況は、水道管破損、道路への岩石落下や亀裂、民家の屋根瓦損壊、石塀倒壊等でありましたが、行方不明者、死亡者、負傷者等の人的被害はなく、おかげさまで他市町村と比べて、被害は少なく済むことができました。



## 年頭のご挨拶

矢祭町議会議長 富永盛彦

新年明けましておめでとございます。新しい年を迎え、町民の皆様は年頭のご挨拶を申し上げます。

昨年3月11日、東日本一帯を襲った大震災、大津波、福島県に至っては東京電力福島第一原子力発電所水素爆発による大事故に見舞われ、現在も大変な状況に追い込まれており、浜通り相双地区の皆さんは、避難生活を強いられ困難を極めておられます。

県内においても原発事故の影響が出ており、農作物や観光地での客の減少など、これをどうも原発事故による風評被害にほかなりません。農作物からは基準値を上回る放射性物質が検出されており、一刻も早い終息を願うものであります。幸いにも矢祭町は放射線量が低く安心をしております。

昨年4月8日には県内の各町村会の会長、県議長の各大臣に直接陳情致しました。議長会も当時の海江田経産大臣に、「原発事故は本家本元である国の責任であり、終息の時期を町村長に明示し、確約をしていただきたい」と申し上げたところ、「年内12月から年明け1月までには、冷温停止安定状態にします」と話されました。1日も早く避難生活をされている皆さんが、元の生活に戻れますよう願わずにはいられません。

また、国は環太平洋パートナーシップ協定に参加の意向を示しています。参加することで輸入品目関税撤廃、規制緩和などで、日本の農業は大打撃を受けることとなります。この事は、幕末の列強国との不平等条約にたとえられる話であります。

矢祭町議会も、再度PPP参加反対の意見書を12月議会で可決し、国に提出いたしました。議員各位、町民の付託に応えるべく鋭意努力精進いたします。

本年は、平穏な年でありますようにご祈念をいたしまして、年頭のご挨拶といたします。



そのような状況のなかで、東日本大震災による被災者の受け入れ態勢をつくり、山村開発センターへの避難者受け入れが始まり、初日には30人余りが避難所生活を送りました。

避難者は、福島第一原発から半径20キロ圏内、第2原発から半径10キロ圏内にある富岡町、楢葉町、30キロ圏内のいわき市などを中心に、子どもを含めた親子、家族らが、矢祭町を頼って続々と避難してきました。

町社会福祉協議会、赤十字奉仕団では、避難者用の寝具類の提供を町民に呼びかけたところ、寄贈する人が相次ぎ、町民皆様の協力には大変ありがたかったです。

町においても、全職員を招集し避難者受け入れ対策本部を立ち上げて、職員一丸となって活動することを確認。食料物資班、救護衛生班、ボランティア班、総務情報管理班、被災者管理班等の体制を組織し、班長や担当者を決めて、避難者対策に万全を期したところ、避難者から大変喜ばれ、感謝をされたところでもあります。

環境放射線量については、当町は県内で最も低い町であります。引き続き、町内の環境線量の計測による数量の公表を行うとともに、放射線量計の配布等による健康に対する不安の解消、農産物を中心とした放射性測定器による安心安全な生活を確保するとともに、風評被害対策等に努めています。

さて、本年度は次代を担う子ども達のために更なる子育て支援として、幼稚園入園料、授業料、幼稚園・小・中学校の給食費負担軽減と通学費助成の拡大、石井幼稚園の特別保育、中学生への英語・数学コース別授業の実施、教育委員会事務局への指導主事配置、子育て支援以外でも、個人住宅改良支援事業、防火水槽等消防施設の整備、水道配水管布設替え、町道改良事業、町営住宅の改修、そして幼保小中一貫教育施設の整備の推進等を実施する所存であります。

この幼保小中一貫教育施設については、私の2期目の最重要事業でありますので、是非とも実現したく全力をあげて推進していきたいと考えております。

本年も町民の皆様とともに、本町の基本目標であります「住んでみたい住み続けたい、やまつり町、そして「安心 安全な 矢祭町」実現のため、全力を傾注していく所存でありますので、今後ともなお一層のご支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます、平成24年の年頭の御挨拶といたします。

## 謹賀新年

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。本年もよろしく、お願い申し上げます。



- 議会議長 富永 盛彦
- 議会副議長 菊池 忠突
- 議会議員 佐川 富美
- 議会議員 鈴木 一
- 議会議員 金澤 重光
- 議会議員 菊池 保行
- 議会議員 緑川 進
- 議会議員 鈴木 敏男
- 議会議員 菊池 清文
- 議会議員 坪 豊明

# 第16回矢祭ふれあい駅伝競走大会 久慈川堤防を舞台に熱戦

12月4日、冬晴れのもと第16回矢祭ふれあい駅伝競走大会が、スインピア矢祭周辺の特設コースで開催されました。

大会にはF・I・T（福島・茨城・栃木）圏内外市町村から、親子の部に22組、I部小学生男子に20チーム、同女子に14チーム、II部中学生男子に13チーム、同女子に8チーム、III部一般男子に12チームの合計88チームが参加し、さらに大会役員、競技役員、スタッフ、応援者など総勢1千人を超える多くの皆さんが大会をささえました。

開会式で、大会長の町長が挨拶、渡部紅耀棚倉警察署長、富永盛彦議長が来賓祝辞を述べ、坏功三審判長が競技上の注意を行いました。そして選手代表の関岡サッカースポーツ少年団丸山将平選手が元気に宣言し、石井男子Aチーム小松尚年選手に町長からタスキが授与されました。レースは、親子ロードレースの部を皮切りに、競技順に次々に行われ、選手たちの熱い戦いが繰り広げられました。コース脇には、応援する大勢の保護者や家族、友人が詰めかけ、「がんばれ！」の声援が飛び交っていました。



挨拶する町長

今回は、一般男子の部に棚倉警察署チームも参加し、渡部署長が選手皆員に懸命に激を飛ばしていました。また、この大会は運営委員のほか、多くのボランティアスタッフにささえられ、事故や大きなケガ人もなくスムーズな運営が行われました。



選手宣言する丸山将平さん



多くの皆さんにささえられ立派な大会だ



一斉にスタート



歯を食いしばってのゴール



警察署チームゴール



見事1位ゴール



表彰式会場

## 大会結果

- 親子の部
- 1位 桑名くるみチーム
  - 2位 藤井怡哉チーム
  - 3位 本多悠夢チーム
- I部小学生男子
- 1位 善郷陸上クラブ
  - 2位 RCゆりの木善郷
  - 3位 白河第一陸上クラブ
- II部中学生男子
- 1位 中島駅伝チーム
  - 2位 白河中央中駅伝競走部A
  - 3位 ばんださんチーム中島
- III部一般男子
- 1位 白河連合\*矢祭倍させようぜ\*
  - 2位 絆く地震に負けない男たち
  - 3位 レッドソックスB
- I部小学生女子
- 1位 善郷陸上クラブ
  - 2位 鮫川
- II部中学生女子
- 1位 矢祭中Runners
  - 2位 中島中ソフト部
  - 3位 白河中央中陸上部C
- III部一般女子
- 1位 FACレディーズ

# ふるさとへの情と会員同士の絆を大切に

新春を寿ぎ、皆々様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。又、日頃の矢祭ふるさと会へのご支援、協力を感謝を申し上げますとともに、本年もよろしくお願いいたします。

昨年、矢祭町の皆さんには3月11日に発生した東日本大震災と、それに伴う原発事故により二重の災害に遭われ、地震被害は比較的少なかったものの、原発事故による風評被害等で大変ご苦労されたと聞いております。これらの被害が終息されるまでは時間がかかると思いますが、皆様の知恵と活力によって1日も早く、元の活気ある矢祭町に戻れる様、祈念してまいります。



矢祭ふるさと会もお陰さまで設立44年目を迎え、昨年6月に「スクワール麹町」で開催した平成28年度総会には、古張允町長、富永盛彦議長、緑川恵克商工会長にご臨席いただき、会員55名の出席により、滞りなく議事も進行し、第8期新役員を選出いたしました。

事業の進捗につきましては、春のゴルフコンペと日帰り旅行会は、東日本大震災と原発事故による不安な世情を考慮し、中止といたしました。旅行部会による秋の旅行会は、ふるさと訪問バス旅行として、矢祭町体育会との日程に合わせて実施いたしました。10月9日11時30分に会場の町営グラウンドに到着すると、町民皆さんの歓迎を受け、青空のもと清々しい空気の中で体育祭に参加し、楽しませて頂きました。

## 原子力損害賠償紛争審査会の賠償方針

### 反発

文科省の原子力損害賠償紛争審査会が示した賠償方針で、西白河と東白川地方の町村が東京電力福島第一原発事故による賠償の対象外となつたことから、12月7日東白川地方町村会と東白川地方町村議会議長会は、臨時議会を開き、対応を協議しました。



区長会

東白川地方町村会の藤田幸治副会長は「賠償は県南、会津を含め二百万県民全てを対象にすべき」と語気を強め、各町村長から厳しい意見が相次いで出されました。このことから対象外となった地域の首長から抗議声明を出すとともに、福島県への要望運動を展開することが確認され、12月8日県庁を訪問し、佐藤知事に「原子力損害賠償対象区域の拡充について」の要求書を提出いたしました。

そして往年の赤瓦に改装となった「鶴ヶ城」を見学し、帰りの途に着ました。ゴルフ部会は、矢祭町ゴルフ愛好者とのゴルフコンペを、11月4日大町小生瀬の「ヴァレッククラブ」で開催しました。

情報交換活動は、矢祭町発行の「広報やまつり」を隔月ごとに配布し、さらに会員同士の情報交換の場として、「ざっくばらん矢祭」を発行し、会員に送付していただきました。本年も矢祭ふるさと会として、矢祭町との絆を強くするための情報交換がスムーズにできるよう、役員一同努力して参りたいと思います。皆様方のなお一層のご協力とご支援をお願い申し上げます。結びに、矢祭町の益々のご発展と今年が皆様にとりまして、明るく実り多い年になりますよう、心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶いたします。

## 謹賀新年 本年もよろしくお祝い申し上げます。

副会長	滑川源夫	理事	寺島四郎
事務局長	林悦子	理事	海野美井子
事務局次長	佐藤雅洋	理事	田谷勝雄
	村越幹夫	理事	倉持敏夫
	岸三郎	理事	田光次
	鈴木宏治	理事	小池光雄
	渡辺美智子	理事	荻田澄一
	力丸詢	理事	本池栄徳
	豊田喜夫	理事	藤田紀一
	片野令子	理事	金沢秀一
	片野令子	理事	菊池嘉胤
		顧問	鈴木啓夫
		幹事	寺島四郎
			海野美井子
			田谷勝雄
			倉持敏夫
			田光次
			小池光雄
			荻田澄一
			本池栄徳
			藤田紀一
			金沢秀一
			菊池嘉胤
			鈴木啓夫

町では、12月12日に急遽、区長会を開き、挨拶に立った町長自らがお済みの経緯を説明するとともに、全町挙げて原子力損害賠償対象区域の拡充についての署名活動を実施することになりました。そして年末の多忙な時期にも関わらず、区長さんらのご尽力により全世帯からの署名が集められました。



協議する町村長ら

## 要求書

### 原子力損害賠償対象区域の拡充について

福島県知事 佐藤 雄 平様

この度、原子力損害賠償紛争審査会が示した賠償方針では、賠償の対象区域から本地域を含む県南・会津地方の8市町村が除外されました。区域設定にあたっては、自主避難者の割合や原発からの距離に加えて一定の放射線量が計測され健康への影響が懸念される地域なども考慮して判断したとありますが、原発事故による放射能の影響は、風評被害をはじめ県内全域に及んでおり、日常生活の基盤が脅かされるなど、その精神的苦痛は、今回対象区域となった住民ばかりではなく、どの自治体の住民も同じであります。

東白川地方町村会として、この度の決定は、到底受け入れられないものであり、県内全域を賠償の対象とするよう強く求めるものであります。県におかれましては、関係市町村と連携を図りながら、国に対して早急に改善を求める対応を要求いたします。

東白川地方町村会  
東白川地方町村議会議長会

# 「矢祭町文教施設の一極化計画」検討始まる

矢祭町文教施設の一極化計画検討委員会委員委嘱式並びに第1回検討委員会が、11月28日に役場会議室で開催された。

まず委嘱する委員36名を代表し、富永盛彦議長に町長から委嘱状を交付。町長が「矢祭町の子どもたちを一日でも早く、安全安心な教育環境の中で勉強させてあげたい。効率的な学校生活が送れるよう施設を整備するのが私の努め」と教育構想についての思いを肅々と語りました。

続いて、検討委員会設置要綱を説明し、役員選出が行われ、委員長に佐川泰雄氏、副委員長に佐川正二郎氏を選出いたしました。

協議では、矢祭町文教施設の一極化計画について、保育園、幼稚園、小学校の現状報告と町が今後目指すところと検討の観点等を説明。さらに矢祭町文教施設の一極化計画検討の体系等について説明がありました。説明を受けた後、出席した検討委員が3つのグループに分かれて意見交換を行い、話し合った結果がグループごとにまとめられ、発表されました。



富永議長に委嘱状交付



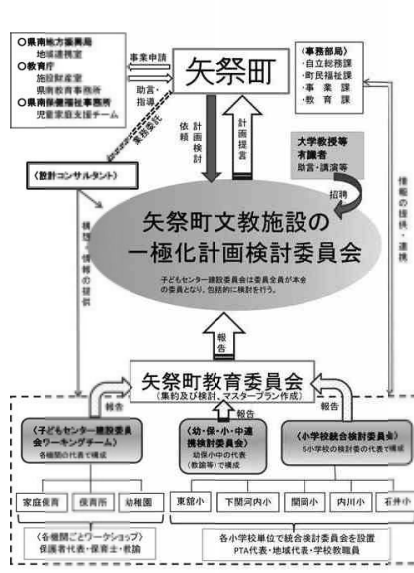
検討委員会のようす

# 「矢祭町文教施設の一極化計画」検討始まる

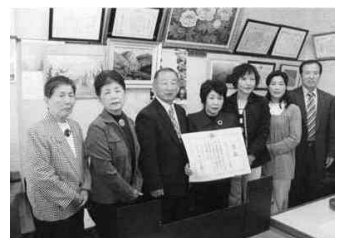
今後は、検討委員が「子どもセンター建築委員会ワーキングチーム」「幼・保・小・中連携検討委員会」「小学校統合検討委員会」の3グループに分かれて、踏み込んだ協議を重ねていくことになりました。(敬称略)

◇委員長 佐川泰雄(学識経験者) ◇副委員長 佐川正二郎(同) 富永盛彦(議長) 鈴木敏男(議会総務常任委員長) 金澤孝明(教育委員長) 藤田玄夫(同職務代理者) 片野宗和(教育委員) 鈴木正四郎(民生委員会長) 片野隆行(行政区長会長) 鈴木守光(同副会長) 益子敏(同) 高信忠孝(学識経験者) 谷田部ヒデ(同) 本田治子(学校評議員) 金澤和子(同) 増子恵美(同) 深谷雅史(保育所保護者会長) 宗田浩一(東館幼稚園保護者会長) 深谷義典(石井同) 金澤孝幸(東館小PTA会長) 金澤佳男(下関河内小) 古根幸一(関岡小同) 片野喜久(内川小同) 青砥靖(石井小同) 菊池賢一(矢祭中同) 吉田和尊(東館小学校長) 金子洋一(下関河内小同) 猪狩照良(関岡小同) 渡邊健順(内川小同) 高崎康行(石井小同) 箭内三紀夫(矢祭中同) 本多文子(保育所長) 富水美智子(東館幼稚園長) 小室理子(石井同) 片野真理子(東館小児童クラブ指導員)

## 矢祭町文教施設の一極化計画検討体系図



## 「手のひらの会」文部科学大臣賞を受賞



受賞報告した手のひらの会の皆さん

11月19日・20日、郡山市交流プラザで開催された読書コミュニケーションネットワークショップの席上、手のひらの会(郡司千代子会長)が、第7回読み聞かせボランティア大賞の一般の部で、文部科学大臣賞を受賞しました。これを受け11月24日、郡司会長ほか会員4人が役場を訪れ、町長と、階堂教育長に受賞を報告するとともに喜びを語りました。

手のひらの会は、平成13年に設立以来、地元矢祭町の伝説や創作民話を冊子にまとめ、地域に広めている活動が評価されたため、審査委員長の日本子ども本の研究会黒沢浩氏他多くの委員から高い評価を受けました。

## 子ども司書推進全国研究大会報告

第1回子ども司書推進全国研究大会が、11月4日青森県板柳町多目的ホールで開かれ、矢祭もつたない図書館の金澤館長(子ども司書推進全国協議会事務局長)と司書の下重淳子さん(同事務局長)そして子ども司書推進全国協議会理事長の高信由美子さんが出席しました。

研究大会は、板柳町館岡一郎町長の開会挨拶のあと、高信理事長が「子どもは信じられないほどすばらしい存在」というテーマで基調講話を行いました。そして子ども司書講座を開催している四つの自治体(矢祭町・青森県板柳町・青森県野辺地町・佐



大会成功を報告する出席者

## 中学3年生が卒業記念植樹



町長との植樹

賀県伊万里市)の担当者が事例発表を行い、子ども司書の共通理解を深めました。

最後に、家読推進プロジェクトの佐川一亮さんが、子ども司書を全国へ広めていこうと提言を行い、有意義な大会が終わりました。

子ども司書制度は、矢祭町が全国に先駆けて始めたもので、徐々に全国各地へと広がりが注目されています。

11月25日、矢祭町ふるさと入づくり事業「緑の郷づくり」の一環として、第三工業団地付近の町道小田川・下関河内線沿いで、中学3年生による卒業記念植樹が行われました。

生徒と先生、町関係者が出席した中、町長が「皆さんが高校や大学を卒業し、やがて社会人となって矢祭町に戻ってきた時、今日植樹するのサクラを見ていただきたい。目標を高く持って頑張ってください」と励ましを込めて、挨拶を行いました。

その後、入づくり基金運営委員会益子修一副委員長が祝辞を述べ、大塚優也生徒会長が「将来、ここを訪れた時、きれいな花を咲かせるよう気持ちを込めて植樹します」と挨拶。オオヤマザクラ苗木10本を班ごとに分かれ、町長、益子副委員長、箭内校長らとともに記念植樹を行いました。

# 今年は「良年」

年男・年女の皆さんに夢や希望、目標を伺いました。

佐藤 亜衣さん

(平成17年生・東総)

私は今年6年生になります。6年生になると責任感を持たなければなりません。学校行事も最後になります。今年はいろんなことに挑戦して、思い出を作りたいです。そして、何事もあきらめずにがんばれるようにしたいです。



何事にも挑戦したい

何にも不自由なく生活しています。私は避難している人が、一刻も早く不自由な生活をしなくても済むようになると思います。

柴田 和也さん

(昭和63年生・高野)



家族4人平穏な暮らし

昨年は東日本大震災をはじめ、いろいろな事がありました。今年の私の抱負は、家族4人何事も楽しく暮らしていくことです。私自身まだまだ未熟で、頼りないところがありますが、今年はいろ

ろな経験を積み、頼りがいのある人間になりたいと思います。

本多 泰幸さん

(昭和51年生・関西)



子どもと楽しい1年に

明けましておめでとございます。結婚して2度目の辰年を迎えました。今年はい息子も加わり、更にパワーアップです。

昨年は東日本大震災があり、改めて家族の絆を感じました。今年も娘が小学校に入学しますので、新たな気持ちで前へ進みたいと思います。

また、感謝の気持ちを忘れず健康で、そして笑顔で過ごすことができたらいいなあと思います。3人の子どもの成長を見ながら、楽しい1年にしたいです。

青砥 由紀さん

(昭和39年生・小田川)

明けましておめでとございます。昨年3月の東日本大震災、誰もが忘れる事の出来ない出来事でした。生活や環境も大きく変化してしまっただけで、矢祭町は比較的被害も少なく良かったです。

ただ、暗いことばかりではありません。私事ですが、わが家の娘が社会人1年生になりました。自分のやりたかった仕事に就き、がんばっている姿がまぶしいです。私の自慢です。私も子どもたちに負けずがんばらなくちゃ！これからも感謝の気持ちを忘れず、健康に気をつけて1年を過ごしたいと思います。みんなが今年1年良い年でありますように。



健康に気をつけて

谷田部 一巳さん

(昭和7年生・若尾)



ダンディーな年男

東日本大震災を経験した翌年の年男。大きな夢を抱かず、マイペースで確実に1歩ずつ前進して行きたいと思えます。本年が平穏で、良き年でありますことを願います。

安住 テル子さん

(昭和16年生・戸塚)

昨年は東日本大震災というあまりにも大きな出来事があり、日本だけでなく世界的にも大変な年でした。私は以前、体調を崩したことがありました。でもこれでは駄目だと思い、目立ったことは出来ませんが、無理のない程度で少しずつボランティア活動を始めました。

活動は食生活を中心としたもので、



やれば出来るがモットー

「食」の大切さを改めて思い知らされました。これからは周囲から必要とされることがあれば、自分が出来る範囲で頑張りたいと思います。いつの間にか私も年女。「辰」は上に登るという意味があり、今年もへこたれず頑張りたいと思います。

昨年は友達に誘われて、高尾山へ登りました。足手まといになるかなと思ったら、頂上一番乗りでした。「やれば出来る」ということをモットーに今年も頑張りたいと思います。

吉市 久雄さん

(昭和3年生・内川)

新年明けましておめでとございます。昨年は皆様ご承知のとおり、地震津波、大雨洪水等々天災事変が多発



平穏な生活を願う

し、尚、原発事故が重なり誠に大変な年でした。今尚、沖縄の米軍基地、北方領土をはじめ竹島尖閣諸島等の領土問題、TPPに参加の是非等々問題山積で、一寸先はわからないご時勢です。私たちの年代は世界大戦で、食糧をはじめ物資不足、空襲による国土焼失、親兄弟は戦病死と幾多の困難と戦って参りました。光陰矢の如しとか、今この歳になって八十有余年を振り返り、一日一日の有難さをひしひしと感じるこの頃です。大まかに考えれば、今も危険との隣り合わせだとしても年頭に当たって、原発事故の一日も早い終結と争乱のない穏やかな毎日であってほしいと願うものです。家族近隣睦まじく、笑顔で毎日を大切に生きたいものです。安心安全な矢祭町で、今後益々の町勢進展と皆様のご多幸ご健勝をご祈念して止みません。

金澤 ハツ子さん

(大正5年生・東総)



若さの秘訣は"おしゃれ"

Q 今年の夢や希望、抱負は何ですか。  
A 「私は不器用で何やってもダメだから」と謙遜しながら、「一生勉強『一生青春』という相田みつをの教えに癒され、力になったし、心の支えとなって生きてきたんだ。楽しみは、大好きなおしゃれをすること、たまに会う老人クラブの仲間との会話だけ。今年もまったく同じに暮らしていくだけ」と淡々と語ってくださいました。



人権擁護委員「啓発活動」を展開

「みんなで築こう人権の世紀」考えよう相手の気持ち 育てよう思いやりの心」を啓発活動の重点目標として、第83回人権週間が12月4日〜10日までの7日間実施されました。町では、人権週間中の12月5日に、矢祭町人権擁護委員が各小中学校を訪問し、児童生徒へ人権尊重の意識を高めてもらうと、学習帳やノート、鉛筆を配付しながら啓発活動を展開しました。



東館小学校にて

町職員依頼退職

12月1日付で依頼退職した主任保健師の本田紀子さんに、2日町長より退職辞令が交付されました。交付した後、町長が「長い間の勤務、たいへんご苦労様でした。一日も早く健康を回復することを願っています」とねぎらいの言葉を贈り、しばし思い出を語り合いました。本田さんは、昭和64年4月1日に保健師として奉職して以来、32年7ヶ月の長きにわたり、町民の健康管理と指導に携わってきました。



辞令を受ける本田さん

伝統ある町のスポーツ行事 少年スポーツフェスティバル

12月11日(日)、第55回やまつりCUP少年スポーツフェスティバル(矢祭町スポーツ少年団本部 宗田浩一 本部長主催)が、町営運動場と体育センターを会場に開催されました。男子サッカー1部5チーム、女子ミニバスケットボールに4チームが出場し、底冷えのする中、半袖短パンのユニホームに身をまといた子どもたちが元気はつらつプレーを見せていました。応援するチームメイトや保護者からは、大きな声援が飛び交い、熱戦が繰り広げられました。この大会は、夏と冬の年2回開催で7年間続いており、運営に当たる育成会員や審判員の中には、小学生時代に選手として活躍した人もいました。



ボールの奪い合い



白熱した試合を展開



選手宣誓する鈴木貴哉選手

水の大切さを学ぶ

12月12日、関岡小学校3・4年生児童6名と担任教諭2名、猪狩校長らが学区内にある関岡上・下地区集落排水施設の見学学習を行いました。総合学習の一環として実施したもので、集落排水処理施設内で最初に、町民福祉課担当の松本義勝グループ長が事業の概要と水の大切さを説明。続いて、福島県土地改良事業団体連合会の担当者から「集落排水事業とはどういうことか」について詳細な説明が行われると、児童たちはノートをとりながら真剣に学んでいました。



真剣に学ぶ児童たち

おやこの食育教室を開催

11月24日、「石井幼稚園で園児27名と保護者16名が参加し、「おやこの食育教室」が開催されました。矢祭町食生活改善推進員会(まよ)会長ほか推進員5名と高橋保健師が講師となり、始めの会で、まよ会長が挨拶とともに食育に関する話をし、料理メニューを説明すると、園児たちからは大きな声で「よろしくお願います」と、礼儀正しく挨拶が返りました。

始めの会が終わると、早速、エプロン姿の園児たちが料理づくりに挑戦。今回実習したのは、主食にトマトライス、汁物のコンソメスープ、副菜のヨーグルトサラダ、デザートのカレープの4品で、お母さんと一緒に楽しく実習していました。



材料の下ごしらえ

始めの会で話を聞く園児

振り込め詐欺にはくれぐれも注意を

- 大会結果
- サッカー部
- 優勝 東館スポーツ少年団
  - 準優勝 関岡スポーツ少年団
  - 3位 石井スポーツ少年団
- ミニバスケットボール
- 優勝 古殿ミニバスケットスポーツ少年団
  - 準優勝 大子エレメンタリーBBCスポーツ少年団
  - 3位 東館ミニバスケットスポーツ少年団

年金支給日の12月15日を「ATM警戒日」として、棚倉警察署と防犯団体では振り込め詐欺被害防止を図ることを目的に、管内の金融機関を巡回し注意を呼びかけました。このうち福島銀行矢祭支店と白河信用金庫矢祭支店では、東館駐在所の今泉巡査部長と矢祭駐在所の今泉巡査部長が訪問し、来店してきた高齢者にくれぐれも振り込め詐欺に遭わないよう丁寧な指導をしていました。



注意を呼びかける駐在所員

振り込め詐欺の手口も、益々巧妙になってきており、「俺は大丈夫だ。私は引っかけられない」と言っていた人ほど、騙されるケースが見受けられます。不振な電話がきたら、まずは身内に相談することを心がけてください。

### 震災で感じたこと

福島県立白河高等学校一年 鈴木 雅恵



卒業式が終わり、私と母は、友だち、友だちのお母さんと共に卒業祝いの食事をしていました。その最中に予期せぬことが起こりました。私たちがおいしく食べていると、突然大きな揺れが襲ったのです。最初、私は「いつもよりちょっと大きい地震だな」と思って、気にせず食事をしていました。しかし、そんな風に思っていたら、ほんの瞬間でした。地震の揺れはだんだん大きくなり、私は恐怖感に襲われました。私を含め全ての人が店の外に出ました。外に出て周りをみると、瓦が落ちていたり、土砂が崩れていたり、思いもよらない光景に驚かされました。その後、余震が続いて、不安はなくなりませんでした。しかし、その一方で、「受験が終わったんだから遊ぼう」と思っていたのに、実現できずにいらいらする気持ちがあったというのも本当の気持ちです。しかし、そのような気持ちがあったというの、テレビのニュース番組でした。アナウンサーが、ある子どもにもインタビューする場面でした。「今、一番欲しいものはなんですか？その子どもが言ったのは「お母さん」という一言でした。アナウンサーはその言葉に何と応えたらよいのかわからず、ただ目に涙を浮かべていました。私もそのときはばかりは、涙を隠しきれず、その言葉は私の心に深く突き刺さりました。

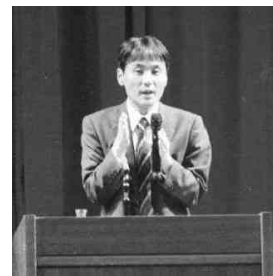
地震が起きる前は、家族と一緒にいることなんて当たり前だと思っていました。家族という当たり前の時間が、本当は幸せなんだと感謝しなくてはいけないと、思い知らされました。家族と暮らしていく中ではけんかをしたり、うまくいかなかったりすることもあります。しかし、「一緒にいられる」ということを大切に、それが家族といえる中で一番大切なので

はないでしょうか。もう一つ、考えたことがあります。震災でなくなった方、大きな被害を受けて思うような環境にない方の分まで、私たちは頑張っていかなければならないということです。私はこれまで、思うように結果がでなくとくじけそうになったり、ネガティブになって前に進めないことがたくさんありました。しかし、多くの被害を受けた人たちに比べれば、私は恵まれた環境にいます。ですから、前へ前へとちょっとでも進んでいかなければならないと思いました。

私は、これから多くの壁にぶつかることでしょう。しかし、自分のためだけではなく、震災で被害を受けた人のためにも、その壁を乗り越えていきたいと思っています。その頑張る姿こそが、震災で被害を受けた方々に對して、私が出られる最大の「援助」だと思っております。

### 長崎大学大学院教授「放射線の影響について」講演

12月1日、矢祭町商工会（緑川恵克会長）主催による、「原子力災害による放射線の影響について」と題した講演会が、ユバール矢祭で開催されました。



講演する高村昇先生

講師は、長崎大学大学院医歯薬学総合研究所医学博士で、福島県放射線健康リスクアドバイザーの高村昇先生で、会場の多目的ホールには大勢の町民が訪れました。

講演は、普段ニュースなどでよく耳にする放射能と放射線、ベクレルとシーベルト、ヨウ素、セシウムといった用語の解説や放射性物質が健康に及ぼす影響と、その性質から高い放射線量によって発症するがんなどの病気へのリスクをわかりやすく解説しました。

また、会場からの疑問や質問にも丁寧に応え、放射線に対する正しい知識と理解を深めることができ、有意義な講演会となりました。

### 「家話」で「ミニニケーション」

## わが家のイチおし

― 矢祭もったいない図書館所蔵本から ―

#### よるくま

作・絵 酒井 駒子  
出版社 偕成社

「よるくま」は、夜みたくに真っ黒なくまの子です。幼い男の子がしつぽにお母さんを探しに出掛ける冒険のお話です。

そして同じシリーズの「よるくまクリスマスのまえのよる」。クリスマス前、子ども達がきつと同じような気持ちになるのでは・・・ちょっぴり切ない温かいお話です。

イラストがとても美しく愛らしいので見ていただけ楽しめます。久しぶりに図書館で見かけて手に取りましたが、何度読み返しても素敵な絵本です。

#### ぐりとぐら

作 中川幸枝  
絵 大村良子  
出版社 福音館書店

ぐりとぐらのシリーズは何冊かありますが、特に好きなのは「ぐりとぐら」です。

森の中で大きな卵を見つけたぐりとぐら。ぐりとぐらは朝から晩まで食べても残るぐら大きなカステラを作ります。「どれくらい大きいのだろう」「どんな味がするのだろうか」と子ども達はワクワク胸を弾ませます。

今も昔も変わらず子ども達に愛されているぐりとぐら。わが家のイチおしは、この一冊です。



第3回矢祭町もったいない図書館「手づくり絵本コンクール」入賞者

伊藤 淳花 さん  
藤井 友枝 さん



第3回矢祭町もったいない図書館「手づくり絵本コンクール」入賞者

藤井 友枝 さん  
藤井 美とま さん  
藤井 麻莉 さん

### やまつりの「文化・スポーツ団体」紹介コーナー⑫

#### 戸塚グランドゴルフ愛好会

◇代表者 角田善光 会員数25名  
◇昭和63年4月設立  
◇団体紹介

現在の会員は、50～80歳代までの25名です。ピーク時には54名いましたが、残念ながら半数となってしまいました。会の大会や町大会には毎回出場し、活発に活動しています。

特に紹介したいのは、平成7年福島県で開催した第50回国民体育大会デモンストレーション大会で、団体の部6位入賞、個人の部で小松康男さんが優勝、深谷三郎さんが8位入賞と、輝かしい成績を収めたことです。随時会員を募集しています。お気軽にお声がけください。



#### 矢祭民謡愛好会

◇代表者 田中千代子 会員数15名  
◇平成元年3月設立  
◇団体紹介

財団法人日本民謡協会福島地区連合会郷土部矢祭民謡愛好会として、平成元年3月に設立し、全国大会、東北大会等数多く参加して参りました。そして、平成13年に指導の先生が、健康上の都合で支部を解散し、矢祭、埴、鮫川の民謡愛好会により「奥久慈会」を結成しました。3町村の愛好者と交流しながら、町文化祭や敬老会など年4～5回の発表をしています。練習は、月3回町中央公民館で行い、会員それぞれが納得ゆくまで練習に励んでいます。





## 平成23年分所得申告相談のお知らせ

町では毎年、所得税及び住民税(国保税)の申告相談を行っています。今年も2月13日(月)から3月15日(木)まで、各公民館や集会所または山村開発センターなどを会場に所得申告相談を行います。申告をしなければならない方は、期限内に必ず確定申告を済ませてください。

- なお、申告が必要な方は次の要件に該当する方です。
- ★営業・農業・自由業(外交員、塾の経営者等)などの事業を営んでいる方。
  - ★不動産(地代・家賃)・配当・譲渡(土地等の売買)などの収入がある方。
  - ★給与収入があり年末調整を行っていない方。
  - ★給与収入があり年末調整を行ったが、農業・営業・不動産(地代・家賃)・配当・譲渡(土地等の売買)・年金など給与以外に収入がある方。
  - ★年金収入だけで年金から所得税が源泉徴収されている方。
  - ★年金収入だけで年金収入者が扶養控除や配偶者控除等を受けようとする方。
- また、平成23年分所得において
- ☆医療費控除【平成23年中に医療機関などに支払った金額が、高額療養費や保険金など還付された金額と所得の5%または10万円を差し引いても支払った医療費がある方】
  - ☆住宅借入金等特別税額控除【平成23年中に住宅の新築・増築・改築し一定要件に該当し、借入金を有する方、若しくは、平成23年分以降に所得税における住宅借入金等特別税額控除の適用がある方(平成11年から平成18年までに入居した方に限る)で、所得税の額が減少し、所得税から控除額が控除しきれなかった方】を受けようとする方も申告が必要です。
- なお、詳しくは白河税務署または矢祭町役場自立総務課税務グループ(TEL46-4572)までお問い合わせください。

### 平成23年度住民税(国保税)所得申告相談日程表


申告月日	時間	行政区名	申告会場	備考	申告月日	時間	行政区名	申告会場	備考
2.13(月)	9:00~11:00	茗荷区	茗荷地区多目的集会所		3.2(金)	9:00~11:00 13:00~15:00	宝坂区	宝坂構造改善センター	
14(火)	9:00~11:00 13:00~15:00	内川区	内川保健福祉館		5(月)		関岡区	高城農業構造改善センター	関岡上の方 関岡下の方
15(水)	9:00~11:00 13:00~15:00	真木野区	真木野公民館		6(火)	9:00~11:00 13:00~15:00	高山区		上記に申告出来なかった関岡区の方を含む
16(木)	9:00~11:00 13:00~15:00	上関河内区	健康ふれあい館	表木地区の方 下関河内下3の方含む	7(水)		コノリ中山区		
17(金)	9:00~11:00	大塚区	大塚地区多目的集会所		8(木)		山野井・金沢区		中央団地を含む
20(月)	9:00~11:00 13:00~15:00	下関河内区	下関河内地区多目的集会所	下関河内下1・下2の方	9(金)		館本区	山村開発センター	東館団地を含む
21(火)	9:00~11:00	追分区	追分地区多目的集会所		12(月)	9:00~11:00 13:00~15:00	桃ノ木区		
22(水)	9:00~11:00 13:00~15:00	中石井区	中石井多目的集会所	黒助・榑・舟見の方	13(火)		石野内区		
23(木)				館谷・小野沢の方	14(水)		小田川区		
24(金)	9:00~11:00	高野谷地区	高野谷地区多目的集会所		15(木)				
27(月)	9:00~11:00 13:00~15:00	下石井区	下石井多目的共同利用施設	下石井第1の方 下石井第2・第3の方					
28(火)									
29(水)	9:00~11:00 13:00~15:00	戸塚区	戸塚農業構造改善センター	戸塚第1・第2の方 戸塚第3の方(南石井団地を含む)					
3.1(木)									

※ 所得申告相談日程表の申告日にやむを得ずこれがない場合は、他の申告会場等で申告相談しますので前日までに、役場税務グループ(TEL46-4572)へご連絡ください。

## すくすく満1歳

お誕生日おめでとう!!

きくち あんな  
菊池 杏南 ちゃん  
(平成23年1月12日生まれ)  
お姉ちゃん達と一緒に踊るのかわ  
好きな杏南ちゃん。これからは仲良  
く大きくなってね。




さいとう りん  
斎藤 凜 ちゃん  
(平成23年1月22日生まれ)  
いつも可愛い笑顔に癒されている  
よ。これからは元気ですくすく成長  
してね! (父母より)



たかのぶ はるひと  
高信 治 くん  
(平成23年1月11日生まれ)  
兄弟の中で一番やんちゃな治くん。  
健やかに育つことがパパ・ママの  
願いです。(パパ・ママより)



ひるた つすけ  
蛭田 湊介 くん  
(平成23年1月17日生まれ)  
いつもやんちゃな湊くんはみんなの人気  
者。パパ・ママの大切な宝物です。これか  
らも元気に育ってね。(パパ・ママより)



## 短歌

矢祭町短歌会十二月詠草

月一度旅行気分て通院す移りゆく四季を電車に眺めて

豪雨の爪痕今も岸に残し緩やかに小春の久慈川流れる

人なみに生きんとひねもすこんたやんをくらひのうに掘りし日々思つ

花をまますぐのびたる八つ手のそば山茶花の赤は霜に萎えたり

大霜に雪だーと同等のはしゃぎおり百鳥は甘柿に祝言をめぐ

三十年のゲートボールの思い出を語りつつ紅白の玉を打ちゆく

情深き友の詩集を読み終えて夕庭掃きゆく筆目を立てて

小春日の庭に打ちゆく黒豆のむしろ転がる光をひきく

匂い立つ入浴の後の児尻の部屋の前にてしばし佇む

変わりゆく農業の音楽ともにせる兄弟姉妹よやかに金婚式迎ふ

口づかむ歌詞を紙に写して思ひは百年会へと馳せる

電話より「採用通知」告げる孫にしばし原案の事故忘れあり

- 佐藤ミサ子 星 初枝 藤田 君江 菊池 知子 金澤 京子 高沢 寿雄 片野 悦子 深谷 縋子 藤田 啓子 佐川 文江 松本 精次 佐川 豊子

お詫言と訂正  
12月号「すくすく満1歳」で佐藤肇君と掲載しましたが、肇君ちゃんの名を誤りでした。ここに訂正し、お詫言を申し上げます。

## 結婚祝い金を贈呈

11月21日、今年度第2回目の結婚祝い金贈呈式が町長室で行われ、2組のカップルに結婚祝い金を贈りました。  
式に出席した戸塚の松浦賢吾さん・雅美さんご夫妻に、町長が結婚祝い金10万円を贈呈し、「新家庭を持たれ夫婦仲よく、一日も早く子宝に恵まれ、町の将来を担う人材を育てていただきたい。松浦家の益々のご繁栄を願っています」とお祝いを述べ、二人の幸せを祈りました。  
なお、欠席した小田川の片野正勇さん・りんさんにも、後日祝い金を届けました。  
※結婚祝い金は、町内出身者同士の婚姻でも支給いたします。結婚時に10万円、3年目に10万円の計20万円を支給いたします。



松浦さんご夫妻

## 笑いに涙、悲しみに涙

11月28日、矢祭町地域包括支援センター主催の介護予防講演会がユーバル矢祭で開催され、20名の皆さんが聴講しました。  
講師は、郡山市在住で現役バスガイドの八巻任子さんで、「人生楽しく〜!〜!といつまでも元気でいられるために」を演題に、1時間30分にわたり講演を行いました。

八巻さんは、いきなり方言丸出しのしゃべりで笑いを引き出すと、あっという間に聴衆の心をつかみ、長いガイド経験談を面白おかしく語り、会場を笑いに渦に巻き込みました。  
逆に、人生訓的な心温まる話が始まると会場は静まり、あちこちからハンカチで涙を拭く姿が見られ、とても意義ある介護予防講演会となりました。



笑いは健康に一番



笑いの渦に引き込む八巻さん

## 歳の暮れに温かい贈り物が届く

このほど矢祭町社会福祉協議会に、東館子山野井出身で、現在、横浜市に住んでいる林タエコさん(82歳)から女性用の手づくり靴下カバー50組が寄付されました。届けたのは義姉の佐藤たつ江さんで、妹から「お世話になった矢祭町の高齢者の皆さんに寄付したい」と預かったもので、「一つひとつ袋詰めます、丁寧に糸で編み込んであります。これから寒さが厳しくなる中、温かい贈り物に町社会福祉協議会ではたいへん感謝しており、一人暮らしの高齢者や高齢者世帯に届けられました。



届けた義姉の佐藤たつ江さん

## 今後の活躍に更なる期待

11月28日、若鮎チャレンジサポート事業激励金の交付式が町長室で行われ、下関河内の石井仁美さん、寿美さん姉妹に激励金を贈呈しました。  
一階堂教育長、芳賀教育課長が同席した中、出席した仁美さんに町長が「姉妹で東北大会に出場したことはたいへん名誉なこと。ふくしま駅伝でも大活躍で、これからも更に上を目指し頑張ってください」とねぎらいと励ましの言葉を贈りました。



激励金を受ける仁美さん

## 平成28年度歳末たすけあい若ふじ辰美会から今回も善意

12月1日から26日までNHK歳末たすけあい運動が行われました。運動初日には、若ふじ辰美会(金澤ヤイ会長)から善意が寄せられ、会を代表して金澤つきさん、本多節子さんが役場を訪れ、公務主張中の町長に代わり、矢祭町社会福祉協議会鈴木正良会長に寄託しました。今回の歳末たすけあい運動にも、多くの皆様から温かい善意が届けられ、心から感謝を申し上げます。  
届けられました募金は、共同募金会を通じて、国内の福祉施設や支援を必要とする方々のために役立てられます。



募金を渡す金澤さん、本多さん

## 健康長寿を得る秘訣を学ぶ

平成大学の12月講座は、12月7日に介護予防講習と併せて「健康の秘訣」をテーマに、町山村開発センターで開催されました。  
講師は、白河市在住で元体育教師の宍戸初先生で、90歳の高齢でありながら紹介されるとすぐに学級生の前に進み、はつらつとした張りのある声で講和が始まりました。  
健康長寿を得る秘訣はやはり運動と食事で、先生自身が体を動かし、具体的な事例を挙げながら説得力のある話が続きました。学級生も秘訣を学ぼうと真剣に耳を傾け、有意義な学習時間を過ごしていました。



講和を聞く学級生

講師の宍戸先生

# 辰年生まれの小学6年生を紹介します。

3月の卒業に向けて、現在、6年間の学習の総仕上げ真っ最中です。小学校生活も残り3ヶ月を切り、4月から中学生です。新たな学校環境の下で、新しい友だちとの交流、そして教科ごとに変わる先生との学習が始まります。次の目標に向かって大きく羽ばたいてください。



**東館小学校**  
私たちの新年に向けた目標は、次の5つです。  
①目標をしっかりと決めて、何事にも全力を出して挑戦したいです。  
②勉強と運動を両立させて、学校生活が楽しく過ごせるよう、1日1日を大切にしたいです。  
③運動では、いろいろな大会に出場して、よい成績を残せるよう練習したいです。  
④自分から進んで、新しい友だちをたくさんつくって、一緒に遊んだり、活動したりして、よい思い出になるよう心がけたいです。  
⑤一年間、健康に過ごせるよう気を付けたいです。

## 下関河内小学校 目標に向かって頑張る中学1年に



**6年 隠田友和**  
僕は今年の3月で小学校を卒業します。同級生は全員で5人ですが、卒業までみんなで1つでも多くの思い出を作りたいです。中学校では、苦手な科目が少なくなるようにしっかり勉強したいです。そして、部活にも入って一生懸命頑張りたいです。「目標に向かって、努力する」そんな1年にしたいと思います。



**関岡小学校**  
今年はおく達・わたし達が主役の年だ。龍が空に舞い上がるように、おく達・わたし達もたくさん活躍するぞ。1人の力では乗り越えられないこともみんなの力を合わせれば大きな力にできる！  
2012年の関岡小学校は我ら年男、年女6人衆が関岡小学校をリードしていくぞ！お正月から気持ちを高め、今年もスタートダッシュだ!!  
いぞー！おー！

## 内川小学校 新年の抱負



**6年 石井陽平**  
2012年、特にかんぱりたいことは剣道です。2011年は足の送り方の練習と剣道の心構えの暗記をがんばり、1級に合格しました。今年は、足の送り方の練習を継続してもっと上手になり、初段合格を目指して努力していきたいです。  
**6年 鈴木雅大**

2012年の目標は、水泳で特級3に合格することです。2011年は平泳ぎやクロールのスタートの練習をがんばり、特級4に合格できました。ターンはまだ苦手なので、もっと練習してうまくできるようになりたいです。

## 石井小学校 今年の目標



**6年 菊池 美奈**  
わたしの今年の目標は3つあります。1つ目は、会った人に元気の良いあいさつをすることです。昨年は、みんなのあいさつは他の人たちに比べて、声が小さいことに気がきました。それで、地域の人たちや会う人ごとにあいさつをして、気持ちのいい1日を迎え、規則正しい生活を心がけていきたいです。2つ目は、卒業式前にある縄跳び大会でがんばることです。持久跳びや二重跳びなど跳び続けられるようにしたいと思います。全員が心を1つにかんぱります。3つ目は、卒業した後、4月には中学生の仲間入りなので部活などをがんばりたいと思います。元気で明るく、笑顔がいっぱいの2012年にしたいと思います。  
※キャッチフレーズは「ドラゴン、スカイヘレツGO〜♪」

NEWS & INFORMATION

# 行事 & お知らせ 情報局

**心の健康セミナー開催**  
東日本大震災による心に残る傷やストレスにより不眠や不安な気持ちが続くなど、精神的不調はありませんか。  
心の健康を守るためには、ストレスとうまくつきあっていく方法や、精神的な不調のサインに気づき、適切に対処できる力を身につけていくことが大切です。私たちの心の健康を保つためにセミナーが開催されますので、出席してみたいかでしょうか。

- ◆日時 平成24年1月23日(月) 14時～16時
- ◆場所 サンフレッシュ白河
- ◆主催 福島県南保健福祉事務所
- ◆内容 講演「震災によるストレスから心の健康を守るために」

「PM4ライトオン運転展開中」夕暮れ4時には車のライトを点灯しましょう。

講師 武蔵野大学 人間関係学部 教授 藤森和美氏

- ◆参加費 無料
- ◆定員 90名(定員になり次第締め切り)
- ◆※参加希望者は、1月16日までに福島県南保健福祉事務所・障がい者支援チーム(☎0248-12215649)へ申込みください。

## イノシシの肉は 摂取できません

「このほど野生鳥獣の肉における放射性核種濃度(セシウム)測定が行われ、その結果が町に通知されました。それによると県南地区のイノシシの肉から核種濃度キログラム当たり1、260ベクレルという高い濃度のセシウムが検出されました。食品衛生法の規定に基づき食肉の暫定規制値は500ベクレル/kgであり、イノシシの肉は摂取できませんので、自家消費しないよう十分注意してください。」



## 20歳になったら国民年金に加入しましょう

国内に居住する20歳以上60歳未満のすべての人は国民年金に加入し、国民年金の保険料を納めることとなります。収入等がなく保険料の支払いが困難な場合は「学生納付特例制度(学生のみ)」、「若年者納付猶予制度」(30歳未満)などの保険料免除制度があります。  
◆国民年金(基礎年金)305クレジット  
1. 老後を支えます。(老齢基礎年金)  
2. 病気やけがで障害の状態になったときに支えます。(障害基礎年金)  
3. 加入者がなくなったとき、子のある配偶者、子を支えます。(遺族基礎年金)  
国民年金に加入し保険料を納めることは義務であり、老後の生活や方が一の有事の際に助けられる制度ですので、必ず加入し保険料を納めましょう。  
問 町民福祉課・町民グループ ☎4614574  
日本年金機構白河年金事務所 ☎024812714161

## 交通事故無料相談のご案内

郡山自動車保険請求相談センターでは、交通事故に遭われた方の相談に専門の相談員が応じています。交通事故の態様も複雑化して、その解決に困りの方もいるかと思えます。お気軽にご相談ください。  
無料相談日  
◆日時 祝日を除く月曜から金曜日 9時～12時 13時～17時  
◆交通事故無料相談(随時) ☎024(933)4850  
◆無料弁護士相談会日程  
◆期日 1月12日(木)、26日(木)、2月9日(木)、23日(木)、3月8日(木) 15日(木)  
◆時間 13時～16時(要予約)  
◆申込・お問合せ先  
郡山自動車保険請求相談センター  
☎024(933)4850  
郡山市駅前2-10-15 住友生命郡山ビル6階

## 平成24年度矢祭町保育所・幼稚園児募集

- 【保育所】 0〜3歳児
- ◆受付期間 平成24年1月4日(水)〜1月13日(金)
  - ◆受付場所 矢祭町保育所 Ⅷ461-2157
  - ◆募集定員 80名
  - ◆入所基準 「両親とも家庭外労働または家庭内労働、親のいない家庭、母親の出産等、病人の看病、家庭の災害等の事情がある場合
  - ◆開所時間 月〜土曜日8時〜16時
  - ◆延長保育 7時30分〜8時、16時〜18時45分
  - ◆申込方法 保育所入所申込書、雇用証明書を提出してください。申込書は保育所にあります。(現在、在所中の保育児は継続入所の手続きを保育所で行います)

- 【幼稚園】 4〜5歳児
- ◆受付期間 平成24年1月4日(水)〜1月13日(金)
  - ◆受付場所 矢祭町教育委員会 Ⅷ461-4580
  - ◆募集定員 4歳児(平成19年4月2日〜平成20年4月1日生) 東館幼稚園70名 石井幼稚園35名 5歳児(平成18年4月2日〜平成19年4月1日生) 東館幼稚園37名 石井幼稚園21名
  - ◆開園時間 各幼稚園とも8時〜13時30分
  - ◆特別保育 7時25分〜8時、13時30分〜18時40分
  - ◆申込方法 入園願書、特別保育申込書、住民票謄本を提出してください。申込書は教育委員会または各幼稚園にあります。(現在、在園中の園児は申込み不要です)

## 家族のためのうつ病教室のご案内

うつ病は決して特別な病気ではなく、誰もがかりうるものです。しかし、うつ病にかかった時、ご本人だけでなく、ご家族も戸惑いや不安をお持ちではないでしょうか。うつ病についての知識や接し方の基本を学ぶとともに、日ごろの思いをお互いに話していただく場として「家族のためのうつ病教室」を開催します。

## 厚生労働省からのご案内 骨髄バンクへの登録をお願いします

骨髄移植や末梢血幹細胞移植は、白血病や再生不良性貧血などの病気に よって、正常な造血が行われなくなってしまう患者さんの造血幹細胞を、健康な方の造血幹細胞と入れ替える(実際はドナーから採取された造血幹細胞を点滴静注する)ことにより、造血機能を回復させる治療法です。日本では「骨髄バンク事業」が1992年から開始され、これまでに多くの患者さんを救う実績をあげています。しかし、日本の骨髄バンクで骨髄移植や末梢血幹細胞移植を必要とする患者さんは、毎年少なくとも2000人程度います。一人でも多くの患者さんを救うためには、一人でも多くのドナー登録が必要です。ドナーを待つ患者さんにとっては、あなたの登録が、生きる大きな希望になります。

【ドナー登録できる方】

- \*骨髄提供の内容を十分に理解している方
- \*年齢が18歳以上、54歳以下の健康な方
- \*体重が男性45kg以上、女性40kg以上の方

ドナー登録をお考えの方、ドナー登録されている方のお問い合わせは、左記へお願いいたします。また、お問い合わせはメールアドレスでも受け付けております。

骨髄移植推進財団 Ⅷ0120-4445-445 (通話無料) <http://www.jmd.or.jp>

## 人の動き

12月1日現在の住民基本台帳より ( )内は前月比

人口	6,478人	(-3)
男	3,164人	(-1)
女	3,314人	(-2)
世帯	2,074世帯	(-2)

### ●12月中の動き

	男	女	計
◇転入	4人	3人	7人
◇転出	0人	3人	3人
◇出生	0人	1人	1人
◇死亡	2人	3人	5人

矢祭町役場電話番号表(0247) FAX 46-3155

課・グループ名	電話番号
総務グループ	Ⅷ46-3131
企画財政グループ	Ⅷ46-4579
税務グループ	Ⅷ46-4572
健康グループ	Ⅷ46-4573
福祉グループ (介護保険)	Ⅷ46-4581
生活環境グループ	Ⅷ46-4574
市民グループ	Ⅷ46-4577
事業グループ	Ⅷ46-4576
産業グループ (観光担当)	Ⅷ46-4575
F A X	Ⅷ46-3025
議会事務局	Ⅷ46-4578
出納室	Ⅷ46-4571
山村開発センター	Ⅷ46-2097
中央公民館	Ⅷ46-2202
学校教育グループ	Ⅷ46-4580
生涯学習グループ	Ⅷ46-2202 FAX兼用
F A X	Ⅷ46-3400

御用のある方は、各課の直通電話をご利用下さい

### 今月の納税

- 国民健康保険税及び介護納付金
- 介護保険料
- 後期高齢者医療保険料
- ※口座振替日・納期限 1月31日(火)

8期 8期 6期

### 棚倉警察署からのお知らせ

棚倉警察署の代表電話番号が変わります。代表電話番号を平成24年1月10日の「110番の日」から **0247-33-0110番**に変更します。

- ◆事件・事故の緊急通報は「110番」
- ◆警察相談専用電話は「#9110番」
- ◆棚倉警察署への連絡は「33-0110番」

お願いします。なお、当分の間は、これまでの番号と新しい番号を併用することとします。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

### 謹賀新春

輝かしい新年を迎えました。昨年3月には東日本大震災を経験し、より高い防災意識を求められています。無火災を目指し、消防団・関係機関・地域住民との連携を深めながら、安心して住めるまちづくりのために、新たな決意で努力してまいります。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

棚倉消防署矢祭分署  
分署長 薄葉新一  
外 署員一同

◆矢祭町内の件数  
・火災件数 1件  
・救急出動227件 (平成23年1月1日〜12月14日現在)

今もむかしも火の用心 あなたを守る  
棚倉消防署矢祭分署 Ⅷ(46)2119

## 国営林モニター募集

国営林の管理経営に皆様の声を反映させたいため、意見や提言を伺ったり、アンケートにお答えいただく、平成24年度・平成25年度の国営林モニターを募集します。

◆応募条件 関東森林管理局管内に居住の成人で、インターネット利用可能な方

◆応募方法 平成24年2月20日までにEメールにより応募

◆必要事項 氏名、性別、生年月日、住所、電話番号、Eメールアドレス、職業、モニターを知ったきっかけ、応募理由(100字程度)

◆申込み先 Eメールアドレス: kanto\_kikaku@rinvamaff.go.jp

詳細については、関東森林管理局ホームページをご覧ください。

問 林野庁関東森林管理局国営林モニター担当 Ⅷ027-2101-1150

お願ひ 広報やまつりは、町からの情報はもちろん町内の催しなどを取材し、皆様にお知らせしています。取材の際には写真撮影や情報の聞き取りをして広報させていただきます。予めご理解とご協力をお願いいたします。

